

## 2-5. 鳥類調査

### ■調査目的

橋梁の存在に伴うシギ・チドリ類の飛来状況の変化を監視する。

## ■ 2-5 鳥類調査① ～飛行状況調査～



橋梁の存在により懸念される、シギ・チドリ類の飛来状況の影響監視として、下記に着目した調査を行う。

- 橋梁の存在に伴う、鳥類の飛行状況の変化

### ■ 監視項目

項目	調査の位置づけ	調査箇所	飛行状況調査
橋梁の存在による飛行状況の変化	直接的な影響把握	吉野川渡河橋計画線上	○

### ■ 調査内容及び調査時期

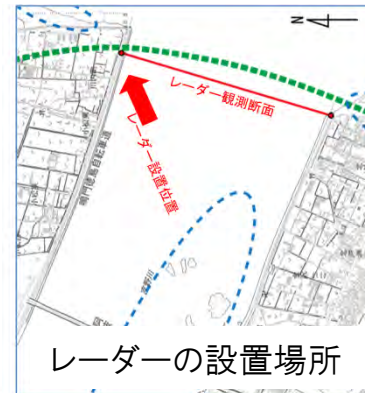
工事区分	調査内容		時期・頻度
事前調査 工事中調査 事後調査	飛行状況調査	種名, 個体数, 飛行高度※1, 飛行経路	年4回 ・春の渡りピーク日①：4月22日頃 ・春の渡りピーク日②：5月2日頃 ・秋の渡りピーク日：9月の大潮の日※2 ・冬の越冬期：1月の大潮の日※2 ○干潮の前後の時間帯に実施※3

- ※1：飛行高度は、目視観察と測量器やレーダー等を用いて計測する。
- ※2：調査日は、潮の干満が大きい大潮の日とする。(干潮時に干潟が広く干出する日)
- ※3：調査時間帯は、シギ・チドリ類の採餌行動と飛行行動が活発になる干潮前後の時間帯とする。

### ■ 調査方法



レーダーの設置状況



レーダーの設置場所



測量器観測の状況

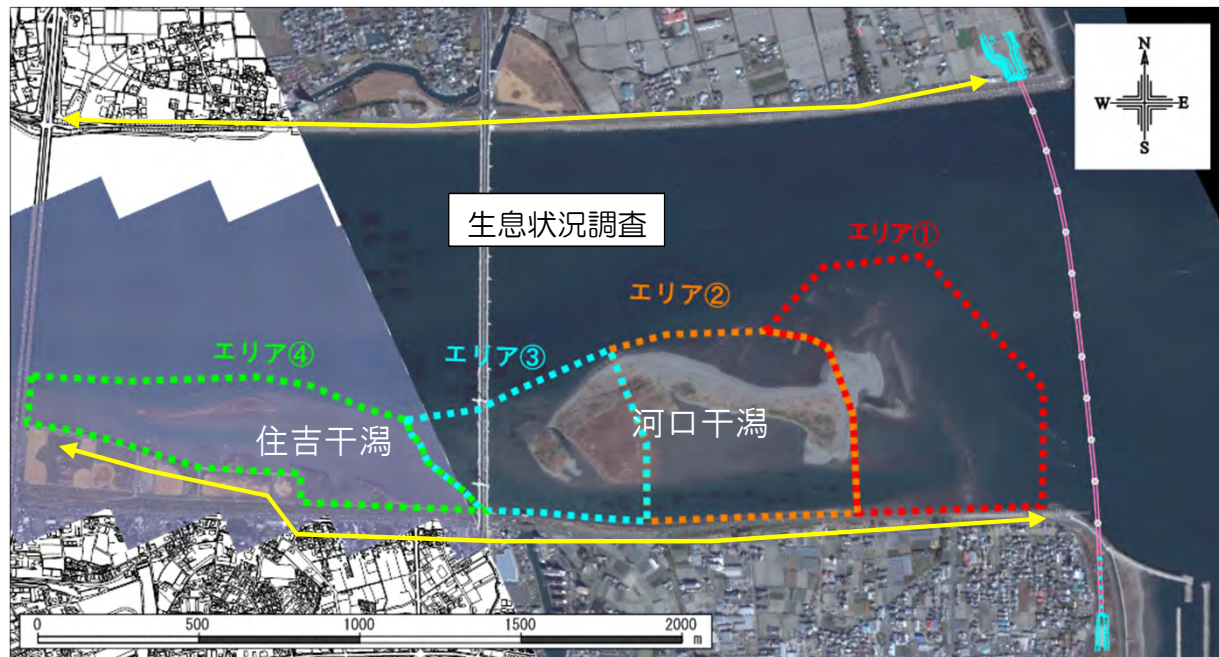


飛行状況調査

## ■ 2-5 鳥類調査② ～生息状況調査～

橋梁の存在により懸念される、シギ・チドリ類の飛来状況の影響監視として、下記に着目した調査を行う。

- ・ 河口干潟・住吉干潟における鳥類の出現状況の変化
- ・ 日本全国及び徳島県（吉野川河口）におけるシギ・チドリ類の出現状況の変化



### ■ 監視項目

項目	調査の位置づけ	調査箇所	生息状況調査	
			現地調査	既往データによる調査※1
河口干潟・住吉干潟の出現状況	直接的な影響把握	河口干潟～住吉干潟：エリア1～4※2	○	—
日本全国および徳島県(吉野川河口)におけるシギ・チドリ類の出現状況	自然変動の把握	—	—	○

※1：環境省モニタリングサイト1000など、シギ・チドリ類調査の結果から日本全体と吉野川河口のシギ・チドリ類の動向を把握する。

### ■ 調査方法



鳥類の観測状況

### ■ 調査内容及び調査時期

工事区分	調査内容	時期・頻度
事前調査 工事中調査 事後調査	生息状況調査 種名,個体数,行動※2	年4回 ・ 春の渡りピーク日①：4月22日頃 ・ 春の渡りピーク日②：5月2日頃 ・ 秋の渡りピーク日：9月の大潮の日 ・ 冬の越冬期：1月の大潮の日 ○干潮の前後の時間帯に実施※3

※2：干潟がシギ・チドリ類の餌場環境として機能しているか、採餌行動にて確認する。

※3：調査の時間帯は、シギ・チドリ類の採餌行動をとる干潮の前後に調査する。

## ■ 2-5 鳥類調査③ ～休息状況調査～



橋梁の存在により懸念される、シギ・チドリ類の飛来状況の影響監視として、下記に着目した調査を行う。

- ・シギ・チドリ類のねぐらにおける休息個体数の変化



### ■ 監視項目

項目	調査の位置づけ	調査箇所	休息状況調査
			シギ・チドリ類のねぐらにおける休息個体数の変化

### ■ 調査内容及び調査時期

工事区分	調査内容		時期・頻度
事前調査 工事中調査 事後調査	休息状況調査	種名,個体数	年4回 ・春の渡りピーク日① : 4月22日頃 ・春の渡りピーク日② : 5月2日頃 ・秋の渡りピーク日 : 9月頃 ・冬の越冬期 : 1月頃 ○満潮の前後の時間帯に実施※1

※1 : 満潮の前後にねぐらで休息しているシギ・チドリ類を調査する。

### ■ 調査方法



ねぐら周辺で、シギ・チドリ類の休息状況を目視観察する。